



危険個所の分類と整理

—ファイリングによる危険の再確認と情報の共有—

幾度となく施工を行った現場では、慣れてしまうことで危険を見失いがちになってしまいます。また月日を隔てて作業を行うと、過去に施工経験のある現場だったとしても、そこにどんな危険が潜んでいたかを忘れてしまうこともあります。



わたしたちクリーンビジネスでは、日頃から危険個所の洗い出しを行い、参考用の写真を撮影。その写真に端的な説明文を添えて分類・整理し、ひとつの危険要因に関して1枚のシートにファイリングすることで、スタッフ全員が危険の再確認と情報の共有に努めています。



クリーンビジネスでは施工現場の危険の確認を絶えずつづけることで安全と安心を提供しています。

